

輸送変換と、大変興味深いものであった。また、東京大学吉田邦夫氏の特別講演は、物質のもつ化学エネルギーのエクセルギーを決定する方法と、これらの大量の熱力学データを収集して計算機処理によりエネルギー有効利用化学プロセスの発見に関するものであり、きわめて示唆に富むものであった。

一方、一般講演 13 件は、潜熱蓄熱 3 件、熱伝達 2 件と太陽熱コレクタ 1 件、反応熱に関連したもの 3 件、反応熱蓄熱に関連するもの 4 件の 4 つのセッションに分けて発表された。その内容も、化学エネルギーのエネルギー工学の観点から熱力学を再構成するというきわめて基礎的な試みから太陽熱の一般家庭での利用といったきわ

めて実用的なものまで、広範なものであった。新しい試みとして、セッションごとに座長の判断により討論形式を適宜に選んだこともあって、最後の総合討論も含め、活発で盛りのあるディスカッションが展開された。これは座長の方々のリーダーシップに負うところが大きい。

今回発表のなかった領域でも、非晶質太陽電池材料や非晶質磁性材料のような重要なエネルギー関連材料への熱測定の応用が、今後の課題とされている。このミニシンポジウムを一つの契機として、化学エネルギー工学（あるいはエネルギー化学）とエネルギー関連材料の特性評価の 2 つの分野において、熱測定が活用され、大きな貢献がなされることを期待したい。

内外情報

★第 6 回国際化学熱力学学会

(6th International Conference on Chemical Thermodynamics)

1980 年 8 月 26-29 日、ドイツ民主共和国 Merseburg の“Carl Schorlemmer” Technical Universityにて開催。学会の主題は平衡状態を中心とする現象論的および統計的熱力学で、重点は **recent progress** におかれる。ここで、**recent**とは、新しい、未発表の、しかも議論の対象となりうる結果であって、理論的乃至は実際の意義をもつことを意味する。学会は次の 6 つの分科会に分れる。(1)熱化学、(2)相平衡、(3)非平衡熱力学、(4)熱力学と電気的あるいは光学的物性、(5)生物学的に興味ある系の熱力学、(6)実験技術と装置。

各分科会毎に 1 つづつの総合講演、それ以外に Rossini 講演、Swietoslawski 講演が予定されている。また、並列的に開かれる分科会では約 20 の主講演が行われる。同時に 2 つのポスターセッションも行われ、各セッション毎に 80 以内のポスター展示が可能である。ポスターは 3 時間づつ 2 日間の討論時間の間展示される。ポスターセッションについては、*Science* **184**; 1361 (1971) を参照のこと。詳細は 2nd Circular に掲載する。ポスターセッションの参加希望者は **1979 年 12 月 15 日** までに 200 words 以内のアブストラクトを送付されたい。

公用語は英語で、同時通訳はない。参加費は US \$ 100。総合講演は IUPAC の機関誌である *Pure and Applied Chemistry* に掲載される。主講演の短縮版(各々 5 頁以内)を学会開始時に配布する。ポスターのアブストラクトを学会の前に参加者に配布する。

学会に出席を希望される方は **1979 年 5 月 31 日** までに PRELIMINARY REGISTRATION FORM (1st

Circular に添付)に記入して、組織委員会あて送付すること。2nd Circular の送付は 1979 年 9 月 15 日の予定。連絡先:

Prof. Dr. Margit T. Rätzsch
Technische Hochschule “Carl Schorlemmer”
Leuna-Merseburg
Sixth International Conference on Thermodynamics
DDR-42 Merseburg 6
Geusaer Strasse
Deutsche Demokratische Republik
German Democratic Republic
(以上、1st Circular より抄訳)

★第 6 回国際熱分析会議

(6th International Conference on Thermal Analysis)

1980 年 7 月 6 日~12 日、ドイツの Bayreuth で開催。会議の General Chairman は下記のとおりである。

General Chairman, Organizing Committee
Sixth ICTA Conference
Dr. W.-D. Emmerich
c/o Netzsch-Gerätebau GmbH
D-8672 Selb/Bavaria
Federal Republic of Germany

★第 9 回実験熱力学学会 (9-th Experimental Thermodynamics Conference)

1980 年 4 月 16~18 日、イギリス、ロンドンの University Collegeにて開催。

連絡先: Dr. F.H. Hayes, Department of Metallurgy,
University of Manchester/UMIST,
Manchester M1 7HS, UK